



自衛隊栃木地方協力本部

大学生向け夏季インターンシップを開催 ～優秀な大卒人材の確保に向けて～



掃海母艦うらがに乗り込む参加者



艦長気分で双眼鏡を覗き込む参加者



広大な甲板の上で記念撮影

自衛隊栃木地方協力本部（本部長 加藤浩一陸佐）は、8月28日（月）・29日（火）、横須賀基地及び武山駐屯地（横須賀市）において大学生向け夏季インターンシップを開催した。

高卒者の大学等への進学率が高値で推移する昨今の社会情勢において、大学生等に対する広報活動はこれまでになく重要度が増しており、栃木地本としても民間企業等との競争の中で優秀な人材を確保するため、大学生向けのインターンシップを積極的に開催している。

今回の夏季インターンシップでは栃木県内の大学生等8名が参加し、1日目は海上自衛隊横須賀基地において、掃海母艦「うらが」の細部にわたる説明を受けたのち、減多に座ることができない艦長席に座って双眼鏡で遠方を眺めたり、広大な甲板の上で心地よい潮風に吹かれたりなど普段とは異なる非日常を体験した。また、「うらが」の一般大卒幹部隊員との懇談では、将来の自分達の姿を重ねて、これまでの経験や心境について積極的に質問をする等活発なやり取りがなされた。

2日目の陸上自衛隊武山駐屯地研修では、自分たちと同じ大学生や社会人である予備自衛官補の訓練を見学したのち予備自衛官補との懇談を実施し、参加者たちは隊員に対する親近感を強く持った様子であった。その後の体験喫食では品数豊富な自衛隊の食事に舌鼓を打った。

今回のインターンシップでは、海上及び陸上自衛隊の理解を促進するとともに、一般幹部候補生、予備自衛官補等の志願意欲向上を図ったほか、1日目の昼に有名海軍カレー店で会食、夜には宿泊施設近傍の飲食店で懇親会を開催し、参加者同士の親睦も深めることができた。

2日間のインターンシップを通じて参加者からは「様々な貴重な体験ができた」「自衛隊がより身近な存在に感じられるようになり、充実した2日間を過ごすことができた」との声が聞かれた。

栃木地本は「今後も、大学生等が自衛隊に対する理解・関心を深め、大卒人材の確保に資するようなインターンシップを積極的に開催していく」としている。



予備自衛官補との懇談。



予備自衛官補訓練の見学



体験喫食の様子